

講演会

ダウン症の子どもとともに学んだこと

～障害者週間啓発事業～

「障害者週間」とは、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、従来の「障害者の日」(12月9日)にかわるものとして平成16年に設定されました。

「障害者週間」の期間は、毎年12月3日から9日までの1週間です。

12/3 水 13:30～16:00

当日先着
300名

入場
無料

司会 | 永井 邦子氏

● **会場 | 横浜ラポールシアター**

住所 ▶ 横浜市港北区鳥山町1752 障害者スポーツ文化センター
横浜ラポール 1階

アクセス ▶ 新横浜駅より徒歩 15分 (新横浜駅より無料送迎バスあり)

● **開場 | 12:30** ● **開演 | 13:30**

講演会 13:40～

第1部

講師 | 書家 **金澤 泰子氏**
金澤 翔子氏

講演&金澤 翔子氏の作品制作のDVD上映



第2部

パフォーマンス 15:25～

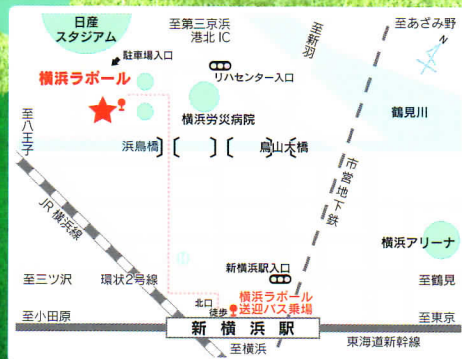
HAND SIGN

「目で聴くミュージック」

(2013年 NHK Eテレ「みんなの手話」レギュラー出演他)



案内図



【問い合わせ先】横浜市障害者社会参加推進センター
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 3階 浜身連内
TEL 045-475-2060 FAX 045-475-2064

● 主催 | 横浜市障害者社会参加推進センター / 横浜市健康福祉局
● 協力 | 公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会 / 横浜市中心身障害児者を守る会連盟 / NPO 法人横浜市精神障害者家族連合会 / 横浜断酒新生活会

書家

かなざわ やす こ

金澤 泰子 (蘭鳳)

かなざわ しょう こ

金澤 翔子 (小蘭)



●プロフィール

金澤泰子

金澤翔子の母。1943年生まれ、明治大学卒業。書家の柳田泰雲・泰山に師事。1990年、東京・大田区に書道教室を開設。久が原書道教室主宰。東京芸術大学評議員。

■主な著書

『愛にはじまる』(ビジネス社)、『天使の正体』『天使がこの世に降り立てば』(共にかまくら春秋社)、『翔子の書』(大和書房)、『涙の般若心経』(世界文化社)、「魂の書」、「空から」(清流出版) その他多数。

希望 共に生きる

金澤翔子

書家。1985年、東京生まれ。生まれてすぐダウン症と診断される。5歳のときより母・泰子に師事し、書道を始める。20歳で銀座書廊に於いて初の個展を開催。その後、建長寺、建仁寺、東大寺、中尊寺などで個展を開催。巖島神社などで奉納揮毫。2012年のNHK大河ドラマ「平清盛」の題字を揮毫。2013年に国体開会式に於いて巨大文字を揮毫。紺綬褒章受章。天皇御製を謹書。

■主な著書

『小さき花』(小学館)、『海のうた山のこえ』(佼成出版)、『翔子』(角川マガジズ)、『お母様大好き』(2014年/いきいき株式会社)



■経歴■(一部)

メディア出演

- ・日本テレビ「スッキリ!!」出演
 - ・TBS「EXILE魂」出演
 - ・NHK Eテレ「ハートネットTV HANDSIGN30分特集」
 - ・NHK Eテレ「みんなの手話」2013年度レギュラー出演
 - ・読売テレビ「Zip!」出演
 - ・日本テレビ「24時間テレビ」連動イベントにてゲストパフォーマンス
 - ・NHK総合「あなたのやさしさを2011」出演
 - ・NHK総合「こんにちは いっと6けん」出演
 - ・TBS「はなまるマーケット」友近のハッピーマンデー出演
 - ・CX (フジテレビ)「とくダネ!」出演 (生パフォーマンス)
- その他多数

HAND SIGN ●プロフィール

独自の表現方法でメッセージを届ける5人組ボーカル&パフォーマンスグループ。テレビドラマを見て手話に興味を持ち、その時好きだった歌を手話しながら踊ってみようと思ったのがきっかけで2005年、手話を取り入れたエンターテイメントグループ「HAND SIGN」を結成。様々な舞台でのパフォーマンスを経験し、ダンスコンテストでも優勝・受賞を重ねる。

2009年にはニューヨークにあるアポロシアターにて開催されているアマチュアナイト出演、オーディションに合格。念願のアマチュアナイトに7度出演し、2度の優勝に輝く。

2010年にはアマチュアナイトのオープニングナイトに出演など活動経験を積み、正式にアポロシアター公認パフォーマーと認定される。

2012年にはカンボジアでダンス交流支援活動を行い、2013年にはブルガリアで開催されたデフリンピックの日本選手団の応援ソング「DREAMSTAGE」を制作し、認知度を高めるプロジェクトに参加し一役買った。今年、神奈川県内中高50公演プロジェクトを行っており、エンターテイメントの角度から若い世代に“手話”と“ダンス”の素晴らしさを伝えている。